

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2)

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	あらゆる差別が起きないように経営トップが関与していく					5.1 5.2 5.5									8.5 8.7 8.8	10.2 10.3				16.1 16.2 16.7		
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	【予定】ハラスメント禁止項目を就業規則に追記する					5.1 5.2 5.5									8.5 8.8					16.1		
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	残業ゼロ活動を実施している。勤怠管理システムを導入し個々の勤務状況を管理できるようにしている															8.5 8.8						
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	エコスピード工法の海外移転の促進することにより雇用が生まれ問題の軽減につながると考えている				4.4											8.7 8.8	10.2 10.3					
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	危険箇所、危険作業を確認し是正することにより作業者の安全を確保している 警告注意ラベルの張り出しを実施している																					
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	ストレスのない環境作りの推進していく																					
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	男女問わず高齢者が活躍できる職場になるように事業自体の見直しを含め検討している						5.1 5.5									8.5	10.2 10.3					
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	新規案件に対して先輩社員が新人に対してその都度、技術移転を実施し共有している。また、新たなノウハウ等は社内サーベにアーカイブし誰もが閲覧できるようになっている。				4	5.5										8	9					
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	同一労働、同一賃金の原則に沿った対応をしている						5.5									8.5	10.2 10.3					
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	定期健康診断受診の実施している 今後は年齢を定め精密検査の義務化を検討したい																8					
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	ゴミの分別を徹底している																					
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	デマンドコントローラによりピーク管理をしている																					
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	社内照明の全てをLED照明に切り替え済み															7.2 7.3				12.4	13.3	
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	法令で規制されている有害物質を含む部材の使用を廃止している(ハンダ、溶接棒、洗浄油等)																					
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	油分や薬品成分が排水や近隣河川に流れ込まないように完全分離し専門業者に処理を委託している																					15
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	廃棄する金属を細かく分別することにより希少金属のリサイクルに寄与している																					
		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	工場での地下水利用を廃止。一般利用(手洗い、トイレ等)の上水は元バルブの調整にて節水を心掛けている。																6.4 6.6					

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	エコアクション21の取得を検討する			3.9			6	7					12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	社内、社外ともに積極的に情報の開示を実施していく												12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	太陽光発電設備を保有し運用している							7.2						13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	リサイクル品を積極的に利用し天然資源の持続的利用に配慮した調達を心がける												12.2	13	14	15				
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に定められており告知している																16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	法律を理解し社員に対して不正競争行為に関与しないよう働きかける																	16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	2021年現在、出願件数39件（特許、商標、意匠）知財を利用し連携企業とマーケット構築活動をしている								8.2	8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社員からの個人情報は管理上最低限の提供を受け適切に管理する。																		16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	調達材料のサプライチェーンを確認している																		16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	フェアトレードの精神を順守し取引関係を構築するよう心がけていく					5					8		10		12	13	14	15	16	17
28		製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	開発から販売までのパートナー企業と連携し分担しながら活動している			3.9										12.4					
29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している		基本	ユーザーからのご意見やご要望を商品開発やモデルチェンジ等に取り入れている。情報はパートナー企業と連携し共有している。										9									
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる		チャレンジ	Co2削減効果の高いエコスピード工法を開発し展開している						6							12	13	14	15			
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		チャレンジ	エコスピード工法により作業の標準化を実現している。海外において一般作業者が技能者として認められる社会となるように活動していく。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	エコスピード事業はどの地域においても雇用を創出でき、安全安心なコンクリート構造物を提供できる事業と考えている 今後更なる普及を目指す				4										9		11	12			14	15			17	
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	災害時の義援金、地域少年スポーツチームへの寄付等を行なっている				4													11					14	15		17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	現時点で地域資源を有効に活用することはできていない 今後、活用に向けて検討したい														8	9		11	12	13						
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有している	基本	エコスピード事業においてアライアンス企業間で活動目標を定めている。それに基づき会社の理念、目標を定めており社内では都度報告している																8	9								17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	社内規範を元に経営者が管理している																									16
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	関連企業にてアライアンスが組まれており社会や環境に及ぼす影響等に関する会議を定期的開催している。会社からは社長が参加している																									16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	ステークホルダーには会社の理念を説明し賛同を得るように心掛けている																								16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	利益とリスクのバランスを考え社員と協議しボトムアップ型のリスクマネジメントを構築する																									16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	業界団体にて協会を設立している 社会や環境に及ぼす影響等に対して協議し活動している 会社からは社長が参加している																									16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	災害後の事業復帰を見据え蓄積したノウハウ等をデータ化し外部期間にてアーカイブしている																	9		11		13	13.1			16
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	現在行っている事業の再構築を含め状況に応じて対応していく																8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるほし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）